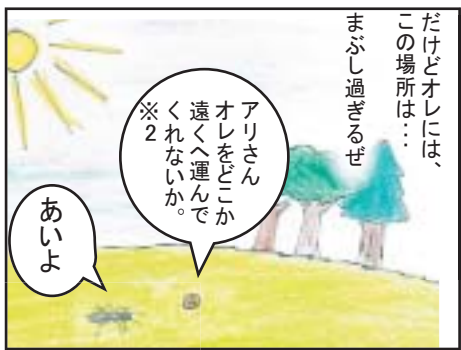


高尾山4コマ漫画 その30
ヒカゲスミレの生き方



※1 スミレは種を弾き飛ばします。
※2 スミレの種にはアリの好む物質がついているので、アリが遠くに運んでくれます。

季刊高尾ビジターセンターニュースレター
「のぶすま」2012年春号Vol. 30
東京都高尾ビジターセンター自然解説員作成
2012年4月6日発行
所在地: 〒193-0844東京都八王子市高尾町2176
電話: 042-664-7872 FAX: 042-662-9926
URL: <http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>
(カラー版最新号を閲覧できます)

「春」の一言
桜々に新緑…心弾む季節。高尾山は混み合うので、譲り合って歩きましょう(山道は上り優先)。

季節のみどころ (樹に咲く花)	
4月	カツラ(5号路、日影沢)、ヤマザクラ(1号路、稲荷山、一丁平)、ミツバツツジ(一丁平)、アブラチャン(全コース)、キブシ(全コース)、クロモジ(1号路、5号路、稲荷山)
5月	ハナイカダ(1号路、5号路、6号路)、カジカエデ(4号路、5号路)、ホオノキ(1号路、4号路、6号路)、マルバウツギ(全コース)、コゴメウツギ(全コース)、マユミ(1号路)、ガクウツギ(5号路)、ガマズミ(5号路)、コバノガマズミ(5号路)、ミズキ(全コース)
6月	テイカカズラ(全コース)、ウリノキ(4号路、5号路)、クマノミズキ(1号路、5号路)、マタタビ(1号路、6号路)、サルナシ(1号路、6号路)、ヤマボウシ(1号路)

4月、木々が葉の落ちた明るい林の中では、アブラチャンやキブシ等、樹に咲く黄色い花が目立ちます。5月、6月になると、初夏の新緑の色に変わります。黄緑色の新緑の中では、白が映えるようになり、ホオノキやガクウツギなど、白い花が多く見られるようになります。

ビジターセンター通信

3/25「高尾山の石を見に行こう」実施報告

大人のための科学講座・みわ塾主宰の三輪主彦氏を講師に招き、「高尾山はどうやって山になったの？」等の謎に迫りました。崖の地層がほぼ垂直に傾いていることから、大変な圧力を受けてできた山だということが分かるなど、高尾山を見る視点が変わる講座となりました。「のぶすま」バックナンバー21と25は高尾山の石特集。ご希望の方はお申し出下さい。



これからの行事予定

- 4月22日(日)高尾で春の色さがし
高尾の森で自然と遊びながら、春の色さがしをします。
小学生とその保護者 定員40名
- 5/26(土)山ボーイ、山ガールはじめの一步!
山登りに必要な道具や、安全に登る方法、山ならではの楽しみ方などを紹介する体験型イベント。高校生以上
定員20名

花の山 高尾山

ギンリョウソウ(イチヤクソウ科)
花期:5月~6月
茎もすべて真っ白で林の中にひっそりと咲く。

チゴユリ(ユリ科)
花期:5月
名前の由来(稚児)の通りかわいらしい花。

ジロボウエンゴサク(ケシ科)
花期:4月~5月
横から見ると細長くかわいらしい。

セツコク(ラン科)
花期:6月
スギなどの木の上に咲く6月を代表する花。

コバノタツナミ(シソ科)
花期:5月~6月
赤紫の小さな花が上を向いて咲く。

センボンヤリ(キク科)
花期:5月~6月
長い茎の上に可憐な花を一輪つける。

タカオスミレ(スミレ科)
花期:4月~5月
高尾山で発見されたスミレ。

ヨゴレネコノメ(ユキノシタ科)
花期:4月
葉全体が花のように見える名前にそぐわない花。

高尾山の春は、たくさんのお花で彩られる季節です。そんなお花たちと出会うコツをご紹介します。

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター
のぶすま
2012年春号
Vol. 30

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。高尾山に住む人気者のムササビにあやかっけて、「のぶすま」とつけました。

ひと目でわかる!

花のお気に入りスポット早わかり表

高尾山に咲くたくさんのお花。実はお花が好きな環境はだいたい決まっています。環境ごとに日向、日陰、湿ったところ、乾いたところに分けてみました。

ひなた

チゴユリ ワニグチソウ ナルコユリ フタリシズカ ヒトリシズカ ミヤマキケマン ギンリョウソウ ナガバノスミレサイシン カントウミヤマカタバミ	ニオイタチツボスミレ センボンヤリ ツクバキンモンソウ ミツバツチグリ オオバウマノスズクサ コスミレ ヤマルリソウ タチツボスミレ タツナミソウ コバノタツナミ ヒメハギ
---	--

しめったところ

ユリワサビ クワガタソウ ハシリドコロ サワハコベ コチャルメルソウ トウゴクサバノオ	ヤマエンゴサク シャガ ヤマネコノメ ヨゴレネコノメ タカオスミレ ハナネコノメ
--	---

かわいたところ

ミミガタテンナンショウ セッコク シロボウエンゴサク ナツトウダイ
--

ひかげ

※区分けは厳密なものではありません。

意外や意外!?

環境とお花のヒ・ミ・ツのカンケイ

それぞれの花が好む場所の環境は、実はその花のくらしぶりと深く関係しています。ここではそんな植物と環境の関係の一部をご紹介します。

ギンリョウソウ

(日のある林床)
ギンリョウソウはベニタケというキノコの仲間に寄生をし、栄養をもらって成長します。ベニタケの仲間は林の中の日のあたる場所に生えることが多いので、ギンリョウソウも同じ環境で見られます。



タカオスミレ

(石垣の上など)
スミレの仲間の種には、アリを呼び寄せる物質が含まれているため、種はアリによって巣へと運ばれます。乾いた環境の石垣の中にはアリが巣をつくることが多いので、種が転がり落ちてしまう石垣の上にもスミレが見られます。



セッコク

(湿度の高い場所の木の上)
スギなどの木の上に咲くセッコクは、木の表面に根を伸ばして付着しています。その根からまわりにある水分を吸収するため、比較的湿度の高い場所に生えるの木の上で花を見ることが出来ます。



高尾ビジターセンター解説員秘蔵

高尾山お花マップ

高尾山にはたくさんの自然研究路(登山道)があります。どこにどんな花があるか、今回は特別にお教えちゃいます。ここだけの話ですよ…。

1号路

沢浴いや日陰、日向など、様々な環境がある
 カントウミヤマカタバミ ミミガタテンナンショウ
 ナガバノスミレサイシン オオバウマノスズクサ

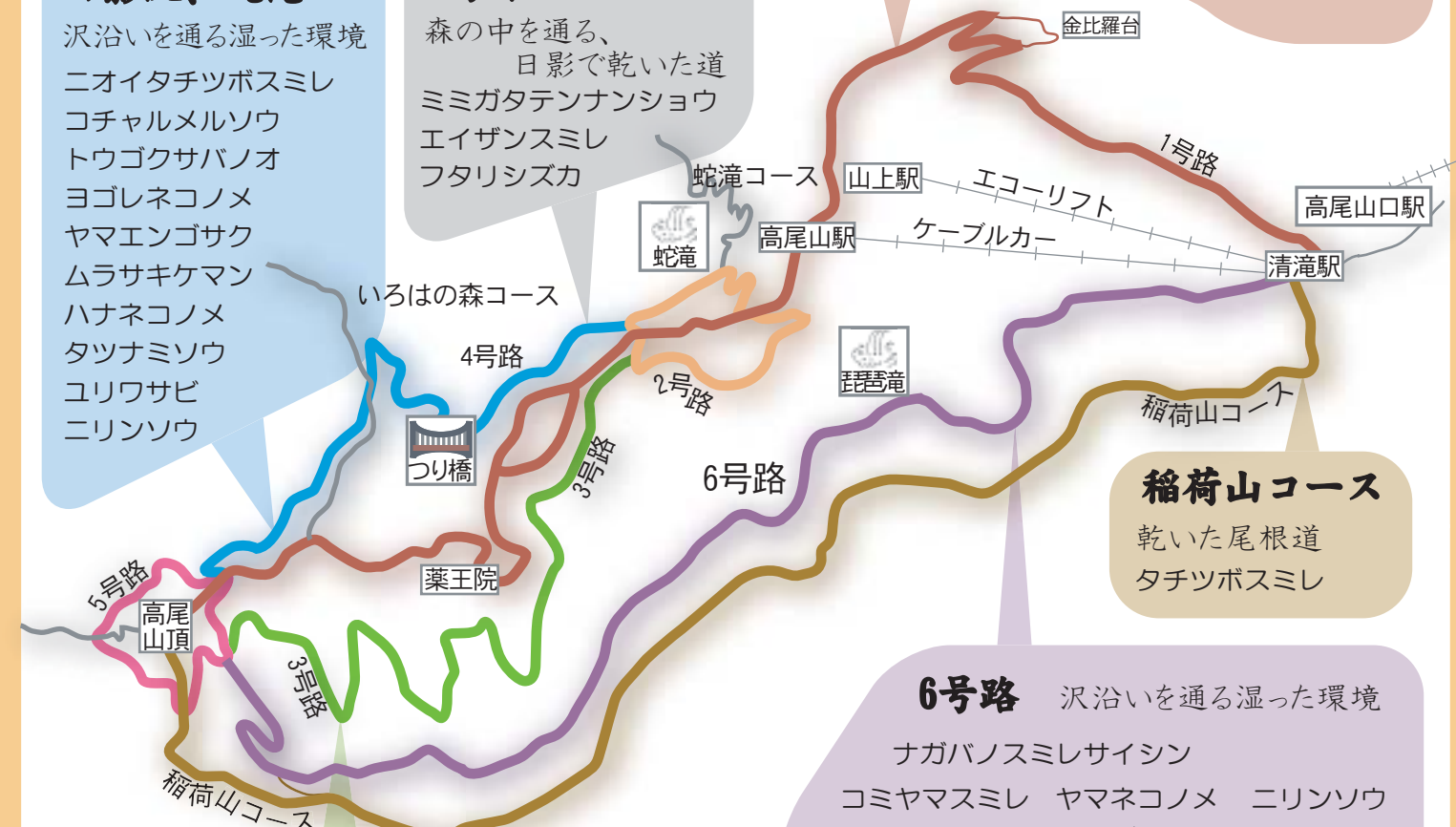
コバノタツナミソウ タチツボスミレ コミヤマスミレ ヨゴレネコノメ ギンリョウソウ ミツバツチグリ	エイザンスミレ ヤマルリソウ ヤマネコノメ ヒトリシズカ フタリシズカ タカオスミレ	シャガ コスミレ チゴユリ セッコク ニリンソウ ユリワサビ マルバスミレ
--	---	---

日影沢、蛇滝口

沢浴いを通る湿った環境
 ニオイタチツボスミレ
 コチャルメルソウ
 トウゴクサバノオ
 ヨゴレネコノメ
 ヤマエンゴサク
 ムラサキケマン
 ハナネコノメ
 タツナミソウ
 ユリワサビ
 ニリンソウ

4号路

森の中を通る、日影で乾いた道
 ミミガタテンナンショウ
 エイザンスミレ
 フタリシズカ



3号路

森の中を通る乾いた道
 ギンリョウソウ
 ミミガタテンナンショウ
 ナガバノスミレサイシン
 ツクバキンモンソウ
 タチツボスミレ
 ハシリドコロ
 ヤマルリソウ
 ヤマネコノメ

6号路

沢浴いを通る湿った環境
 ナガバノスミレサイシン
 コミヤマスミレ
 ミヤマキケマン
 タチツボスミレ
 ヨゴレネコノメ
 エイザンスミレ
 ヤマネコノメ
 クワガタソウ
 ヤマルリソウ
 ハナネコノメ
 フタリシズカ
 ニリンソウ
 ユリワサビ
 サワハコベ
 セッコク

たくさんの花と出会えるということ...

高尾山はたくさんの花が咲くことで知られていますが、その理由は様々な環境が残っているからなのです。3号路、稲荷山コースのような乾いたコースや、6号路のように湿った日影の路など個性に富んだ自然研究路があります。そのような多様な環境をいつまでも残すことが、花を守ることに繋がります。

